

No. 119 (平成27年3月1日)

もな内容 研修講座寸描 $2 \sim 5$ 出前講座寸描 5 研究の成果と課題, 研究員の実践 研究協力校の実践 平成27年度研修講座開催一覧 平成27年度の講座開設の工夫, 新設講座の紹介 ……10 お知らせ………10

幌加内町教育委員会

随

想

学校の変遷を顧みて

佐 藤

をであります。このような歴史と伝統を持った学校の無力ととことが地域はもとより、本町にとってもを一段を一段を一校各一校、化交流の拠点となるべく学校の歴史と伝統を持った学校を一段を一校を一校、北に株立のでありました。これも小学校を一校、北に株文学級のでありますが、姿を消した。ますが、姿を消したとより、本町にとってもを一般が、姿を消した。とより、本町にとってもを一般が、姿を消した。とより、本町にとってもを一般が、姿を消した。とは、その時々のを生が、と思います。であります。と表着を使った皆さんにとっては、自分さを覚えるのではないかと思います。「私もみみ、着校を生った皆さんにとっては、自分さを覚えるのではないかと思います。「私ものが、伝統を継承しなが、原産を生が世に巣立っていったわけるをであります。」と表着を使ったちの真の母校が、たの時々の主には、一抹の家は、たちの真の母校として時間を表しながら、伝統を継承しながら、伝統を継承しながら、にが、伝統を継承しながら、に対したもの表面の母校として時間を表した。一般として時間を表した。

セ

夕

日

誌

日日日日

1月9

センター運営協議会冬季拡大研究室会議研修事業拡大会議

2 2 月月 12 3 12 12 12 11 月月月月 26 19 9 13 3 月 31 3 月 1 1 月月 22 6 4月

マ季合同所員研修会 センター組合議会定例会 センター組合議会定例会 センター組合議会定例会 ・ サンターので発表会 -成27年度研修講座開催要項発行 26年度研究紀要第40号発行

後の不安や中学校生活の疑問に答えたり、一緒にを間近に控えた六年生に中学校生活の紹介や入学居東小学校と雨紛小学校を訪問しています。入学小中連携の取組の一環として本校生徒が校区の神小中連携の取組の一環として本校生 ゲームをします。その名も「不安解消スッキリ訪問_ です。後輩たちが少しでも安心して入学してもら

(旭川市立神居東中学校)えるように生徒たちは一生懸命です。

勝

研

修

講

座

寸

描

Ш

講

師 Ш

社会科指導 7/2910/1 11

(中川町立中川中学校

?研究に力を

受付

金

玹

辰 Ш

道教育大学旭

師

Ш

川北

山階村

一 堂 貴 智 形 形

(忠文和大) (北海道)

を用いた授業づくり等を学びました。特社会的事象のとらえさせ方や言語活動 に発問の 入れていきます。 右するので、研修の成果を生徒に 元できるよう、 組み合わせは、 教材 ありがとうござ 生徒の理解を左

0

26

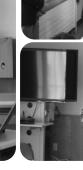
国際理解教育 10/2

> 村山武 上名山 政正昌 義記裕 (無 無 無 分 (兩 粉 小 小 教教教 諭諭頭

ました。ありがとうございました。 考え方につながっていくことが分かり た。 (美瑛町立美瑛小学校 ず入るというイメージがありまし国際理解教育は、外国の事が必 る共生の心を育むことも国際理解 ではなく、 しかし、 他者を理解しようとす それが全てという訳 細川

智子





ションタイプ

保健安全指導 27

士別市立士別西小学校

三相井川 講

> 師 ||

> > 田

政 奈紀 生 (六 合 中 教諭) 養護教諭)



旭川市立愛宕中学校

加納

彰子)

児童生徒をどう支援していくか、 その

会となりました。事例に対して支援の方 在り方やゴールについて改めて考える機 実感することができました。 問題解決にあたることの大切さを 法を提案した演習では、 がとうございました。 チームで

10/2











社会教育 10/7

宍戸

敏彦

石田

貴宏

喜多

武彦

安部

尚登

Ш

師

本(ビブリオバトル北 海道 理事) (有限会社富喜堂 代表取締役) (利淵町教育委員会 教育課長補佐) 教育課長補佐)

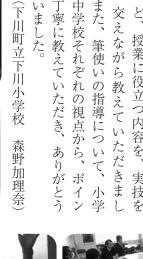
28

戻ってまた学校で活かしたいと思 を体験できた研修でした。 流と一日中、 午後は本に関する実践発表や情報交 ありがとうございました。 前 はビ ブリ 本を持つ魅力とその可能性 オ バ 1 ル の奥深さを感 家庭や地域に いま

た(29 書写実技 10/7

矢野 石井 千賀 (東明中 教論) 一川校 教授) 一川校 教授) 大学 旭

ございました。 -を丁寧に教えていただき、ありがとう 中学校それぞれの視点から、 また、筆使いの指導につい 交えながら教えていただきまし 学 習 授業に役立つ内容を、 0) 進 め方や筆のもち方な て、 ポイン 実技を 小学







あること、 学級経営の基本は、 授業や全ての教育活動は、子の基本は、児童観察が大切で

かりました。研究協議では、実践交流かどもとの信頼関係が基盤になることがわ

でき、自己の教育観が広がりましら様々な学級の実態を知ることが

(北 東 来 来 中 小 教教教教諭諭諭頭

講

師

学級経営②

3

水 竹 岡 上 谷

典康栄啓 美史樹成

10/8

た。

(富良野市立樹海小学校

岩城

司

16 生徒指導

8 / 1

10/9

山神浜 田谷崎 敏 雅 成 之 和 巳 Ш 小 Ш 教教諭敎

頭

ました。 導することの大切さを改めて学び か」を常に考え、目標をもって指 ども一人一人をどう育てていく 意義なものでした。そこから、「子 教育の基本であると感じ、 ながら進めていく授業は、学校指導者が児童生徒の人格を尊重 大変有

(富良野市立樹海小学校

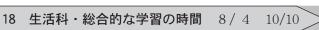
蜂谷百合恵











意義なものとなりました。 なども提示していただき、

川市立知新小学校

藤

瑛

里

また、すぐに生かせる教育実践例

智美德一美樹之寬 Ш

高西米高 綱村澤橋

地教小教教 諭頭

諭

Ш

となどを学ぶことができました。 導力の向上を図るために必要なこ けるこれまでの成果と課題や指生活科・総合的な学習の時間に

お











10/14

を新たにしました。

旭川市立常盤中学校

姿に感動し、生涯にわたって健康 元気に生き生きとした表情で学ぶ

生きるための体育の

充実に思



30

山 \mathbb{H}

宏美

小

教授)

体育科実技

小出

高義

川校 教授) (北海道教育大学旭

Ш

師

 \parallel





ことだと感じました。

児童たちの明るく

思いがけなく新しいアイディアに気付く

和紙に筆で描くだけでなく、

スポンジ

墨絵による表現の多様性に触れる

でスタンプを押すように描くなど、

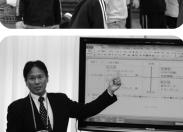
ダンスの魅力は、

自由に創る楽しさや



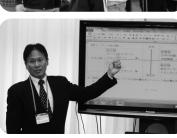
(名寄市立中名寄小学校 濵田 愛



















正史)





道徳教育

8/4

大西 恵理

(東五条小

教小諭

教 教諭) 10/15

水上

丈実 Ш

川校教職大学院(北海道教育大学旭

師 Ш

教授)

書に親しもう

嶋 康 博 (愛宕中 講 師

Ш

Ш

長

1/7

がとうございました。 かりやすくご指導いただき、 わることを実感いたしました。 いのままに書いた言葉は相手に伝 有意義な講座でした。 ためのヒント、 自 分の思いを表現する言葉を とても勉強になり、 用具の種類や扱 書きたい思 本当にあり 大変

,旭川市立豊岡小学校 本多 希









32 絵に親しもう

むことができました。

もあり、

楽しく墨絵の表現に親し

作品を参加者同士で鑑賞する機会 ことができました。出来上がった

(上富良野町立上富良野西小学校 栗林 友恵 神 居 東 **師** 中明

千紘

教諭

ミニ道研A 12/26

中 島 Ш

朗 師

Ш

研育所北 修主事) センタ 附属直立 を 報教 1 - 処育研理研 究教究

きたいと思います。 ことがわかり、 和寒町立和寒中学校 か た。今後、 0 いう意味合 Ι 言語活動の充実にも活かせる たが、そこから発展させてい C Т 活 用 様々 1いが個人:=関心をも Ш 大変参考になりま な面で活用して をも ፲፲ 的には強 たせる

33

(V







(講師

井上

重美

出

前

講

座

描





との大切さを学びました。ご指導ありがピード感を持ちつつも適切に対応するこチャンスであること、事故対応では、スラーの研修では、生徒指導上大きな問めの研修では、生徒指導上大きな問め、

言語活動の充実を図る

(講師

目黒

講座を通して、

ことの大切さを学ぶことができました。 さらに研鑽を積んでいきます。 言語活動を位置付けていけるよう自校で 授業のねらいを達成するために核となる 言語活動が目的となる授業ではなく、 ました。 る研修でした。 ありがとうござ 実りのあ

とうございました。

(名寄市立智恵文中学校

村田

美穂

10/9

市立西御料地小学校

1/16

旭川

林

輔

Ш 師

智恵文中「生徒指導」

明子 巧 所北所北 海 海 道立教育研 研究研修主事 道立教育 研 究

究研修主事

ミニ道研B

大脇

34

村

啓北中「生徒指導







10/1

(旭川市立啓北中学校 斉 藤

裕

多寄小「各種実技指導」





(講師:山田 宏紀(忠和小 教諭) は、実際に体を動かすことで子どもたち ができました。子どもたちが体の動きを ができました。子どもたちが体の動きを 意識できるような声かけや支持の仕方な を動かすことで子どもたち を動きを動かすことで子どもたち を動きを動かすことで子どもたち

士別市立多寄小学校 野 愛子

10/27

次年度も出前講座の 待ちしております 争込み

を

研

究室だよ

IJ

上川教育研修センターでは,理論研究と実践検証を行った結果, 1年次は、次のような成果と課題を明らかにすることができた。

果 成

- ○3段階の言語活動(個人思考・集団思考・思考のまとめ)を問題解決的 な学習過程の中に意図的・計画的に位置付けることで、思考力・判断力・ 表現力を育むことができた。
- ○思考を促し深めるための発問、様々な考えを比較しながら思考を整理す るための板書,効果的に言語活動を行うための学習形態などを工夫する ことで、児童生徒の思考力・判断力・表現力を育み、確かな学力を育成 していく授業を行うことができた。
- ○思考力・判断力・表現力の評価の在り方について方向性を見いだし, 践を積み上げることができた。

課 題

- ●各教科の特質に応じた言語活動の位置付けについて,研究を深める必要 がある。
- ▶思考力・判断力・表現力の評価について,内容を充実させる必要がある。

詳細は、 3月発刊の研究紀要第40号をご覧ください。

研究主題「学び合いで確かな学力を育てる学習指導の在り方

~思考力・判断力・表現力を育む指導と評価~

第十六次研究

年次

単元を貫く 言語活動 支える部分的 「音読劇 な言語 を し 活動 ょ 2 **(**)

工夫 を

S

M Ш 市立旭 川第 |小学校| 年 国語科

場面 様子につい 登場人物の行動を中心

想像を広げながら読む学習~

竹中

した。会話文を比較させたり、問い返したり、揺さぶったりする発問を適宜行っ ことを知り、台本に音読の仕方や体の動かし方を書き込むことができる。」と 会話文の意味やその周りの文、挿絵から場面の様子について想像を広げられる 段階で焦点化や共有化を図り、 た。また、思考と表現をサポートする板書を工夫することにより、 本時の目標を「2つの 本時の目標と指導の

ぁ

という会話文の違い

の読み取りを通し

また、構造的な板書の工夫をすることにより、比較させる発問を工夫したことが、個人思 とができ、思考と表現のサポートにつながった。 指導の重点に基づく分析 個人思考を活性化する手立てとなった。 意見や考えを整理・分類するこ

目標を達成することができると考えた。

集団思考

何を手掛かりにして会話文の読み方を考える段階①【個人思考】 本時の言語活動と成果

段階②【集団思考】 段階③【思考のまとめ】面の様子を想像しながら交流したりする。 か自分の考えをノートに書く。 ートに書いた自分の考えを発表したり、 場

を手掛かりにするとよいことを整理する。 会話文の意味」「会話文の周りの文」「 「挿絵_

ができた。 台本への書き込みを行い、目標を達成すること 台本のまとめで整理された手掛かりを基に、



5 思考を促し、 表現力を高める 言語活動の工夫~

旭川市立明星中学校 年 数学科

一数量を式に表し、その考え方を表現する学習~ 研究員 青水

賢

本時の目標と指導の重点

を作らせ、 ことを、分かりやすく表現する方法を考えさせる。そして、様々な思考と表現 な数を用いて考えることができるようにする。」とした。まず文字を用いた式 いきたいと考えた。 方法に触れさせることで、 本時の目標を「数量の関係を、文字を用いた式でどのように表すかを、適当 なぜそのような式になるのかを考えさせることで、自分が思考した 個人の思考力と表現力を高めていくことにつなげて

指導の重点に基づく分析

のとなった。より分かりやすい考えはどれかと比較検討させること、いかに簡 個人思考の方法を多様化させたことで、集団思考での比較検討がより深いも

単に分かりやすく表現していくかという意識 付けにつなげることができた。

本時の言語活動と成果

段階①【個人思考】

たりして説明する方法を考える。 文字を数に置き換えたり、数直線や図を用い

段階②【集団思考】

個人思考で考えた理由を交流する。

段階③【思考のまとめ】

集団思考での比較検討から、まとめを導く。

の目標を達成することができた。 とで、適用問題にもスムーズに取り組み、本時 集団思考で比較検討し、まとめにつなげるこ

5 板書とワークシートを一体化させ、 生徒の思考を促す工夫~

東川町立東川中学校 国語科

~古典の読みの楽しさを味わい、 現代のつながりを考える学習~ 作品に描かれた世界と

本時の目標と指導の重点

覚化することで、目標を達成することができると考えた。 的意識をもって学習に臨むことができるようにするとともに、 に楽しまれている理由を探るという単元を貫く言語活動を設定し、毎時間、 ながりを考えることができる。」とした。また、竹取物語が今でも多くの人々 本時の目標を「物語のおもしろさを知り、作品に描かれた世界と現代とのつ 思考の流れを視 目

指導の重点に基づく分析

とで集団思考が充実したものとなった。 流れを視覚的に捉えることができ、自分の考えをもたせることに効果的であっ た。また、ワークシートを互いの考えを交流する際の根拠として紹介し合うこ 板書とワークシートを一体化する工夫を行うことにより、どの生徒も思考の

本時の言語活動と成果

段階①【個人思考】

別れの場面でのかぐや姫の気持ちを考える。

段階②【集団思考】

友達の考えに対して自分の意見を発表する。 自分の考えを全体で発表する。

段階③【思考のまとめ】 かぐや姫の気持ちに気付く。

とができた。 のまとめへとつなげ、 集団思考で交流された考えを関連付け、個人 本時の目標を達成するこ



5 三人組のグループ学習を通して 表現力を高める学習形態の工夫~

旭川市立愛宕小学校 二年 算数科

|桁×一桁の計算の仕方を考え、 表現する学習~

授業者 浅田 則行

思考を明確にするためのグループ交流を取り入れてから、まとめにつながる全 を基にして、 にする。」とした。また、集団思考の場面では、多くの児童に話す機会をもたせ、 体交流を行うことで、思考しやすくなり、表現力も高まると考えた。 本時の目標を「十進位取り記数法に基づく考え(12×4=10×4+2×4)**本時の目標と指導の重点** (2位数) × (1位数) の計算の仕方を考えることができるよう

指導の重点に基づく分析

ように配慮してきた。また、自分の意見と比較させることを大切にし、「同じ の結果、意欲をもって、全体交流できるようになり、思考力や表現力が高まった。 か違うか」「似ているか似ていないか」を常に問いかけるようにしてきた。そ に、児童間で発表内容を補完させたり、同じ内容をもう一度復唱させたりする 学習形態の工夫では、発表内容を聞きながら児童が思考を深めていけるよう

本時の言語活動と成果

段階①【個人思考】

12×4の答えを求め、 考え方を図や言葉でノート

段階②【集団思考】

方について学び合う。 の違いに気付き、さらに全体交流で、 まずは、三人組のグループで交流し、自分と友達 よりよい考え

段階③【思考のまとめ】

いて学級全体でまとめる。 十の位と一の位に分けてかけ算するとよいことに

ズに行うことができ、 思考の流れを大切にしたことでまとめまでスムー 目標を達成することができた。



の協 実力 践校

S 実験の予想と仮説を関連づけて 考える発問の工夫~

旭川市立東光小学校四年 理科

〜示温テープの変化と温まり方を関係付けて考察し 科学的な見方や考え方を養う学習~

本時の目標と指導の重点

の予想を、自分の仮説と関係付けて考える発問を工夫することにより、目的意に温まることを理解することができる。」とした。また、検証するための実験り方について考察し、自分の考えを表現することができ、金属は熱せられた順本時の目標を「示温テープなどの変化と温度変化を関係付けて、金属の温ま 識をもたせ、 目標を達成することができると考えた。

指導の重点に基づく分析

とが難しいため、PCに記録しテレビに映し出す工夫を行った結果、検証は仮 説に基づくものであるという意識をもたせることができ、結果と仮説を照らし 合わせた考察にすることができた。 へとつながっていった。また、理科室では教室のように板書を掲示しておくこ 発問の工夫により、実験するときの観察視点が焦点化され、個人思考(考察)

本時の言語活動と成果

する。 斜めにした金属はどのように温まるか考察段階①【個人思考】

段階② (集団思考)

個人思考した考察を交流する。

段階③【思考のまとめ】

結論をみんなで考え、 ノートに書く。

本時の目標を達成することができた。 そうなキーワードを探し、まとめへとつなげ、 集団思考で発表された考察から、結論で使え



平成27年度 上川教育研修センター開催予定講座

	1 122-1 - 13			
番号	講座名	期日	研修内容の概要(上段:講座名 下段:平成27年度の重点テーマ)	授業
1	いじめ・不登校	5/12	一人一人を大切にし、「いじめ・不登校」を未然に防ぐ指導 「『いじめ・不登校』の予防と対策の在り方」	
2	特別支援教育	5/13 ① 6/12 ②	個別の教育ニーズに応える多様な指導の充実を図る特別支援教育 「児童生徒の障がいの特性に応じた自立活動の指導の在り方」(②で授業研究)	小・中
3	学級経営	5/14 ① 10/13 ②	児童生徒一人一人が自己実現を実感できる学級経営	小・中
4	学校経営 I	6 /10	「児童生徒のよさや可能性を伸ばし、信頼関係を築く学級経営」(②で授業研究) 変化の激しい時代に対応した学校経営(学校経営I) ※採用2年目以降の校長が対象	
		·	「新時代を切り拓く創意ある学校経営の在り方」 確かなリーダーシップを発揮する学校経営(学校経営Ⅱ) ※昇任2年目以降の教頭が対象	
5	学校経営Ⅱ	6/11	「スクールリーダーとしての教頭の在り方」	
6	読書活動	6/12	児童生徒の主体的,意欲的な「読書活動」の推進 「読書活動を推進するための組織的な取組〜学校図書館利活用の諸課題」(授業研究あり)	小
7	書写実技	6 /23	日常に生きて働く書写力を育てる書写実技 「基礎・基本を徹底し、確実な定着を図る学習指導」 (授業研究あり)	小
8	小学校外国語活動	7/1	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育む小学校外国語活動 「小学校外国語活動の指導計画の作成と授業研究」 (授業研究あり)	小
9	複式教育	7/2	主体的・創造的に学び、生きる力を育む複式教育 「学び合いにより『確かな学力』を育てる指導」 (授業研究あり)	小
10	国語科指導	7/28 ①	言語活動の充実を図る国語科指導	小・中
11	算数・数学科指導	9/8 ② 7/29 ①	「言語活動の充実を図る国語科指導の工夫・改善~『話すこと』・『聞くこと』」(②で授業研究) 考える楽しさと学びの深まりを実感できる算数・数学科指導	小・中
		9/2 ② 7/29 ①	「根拠を明らかにし、筋道を立てて体系的に考え表現する授業の在り方」(②で授業研究) コミュニケーション能力の基礎を養う外国語科(英語)指導	
12	外国語科(英語)指導	9/2 ② 7/30 ①	「『読むこと』・『書くこと』の指導と評価」 (②で授業研究) 道徳的実践力を育成する道徳教育	中・小
13	道徳教育	9/1 ②	「道徳の時間の授業展開について」 (②で授業研究)	小・中
14	学校事務実務	7 /30 7 /31	教育活動の円滑化を図る学校事務実務 「学校事務における今日的課題〜教育予算における現状と今後の課題」	
15	理科指導	7/31 ① 9/8 ②	科学的な思考力・表現力を育てる理科指導 「『エネルギー』「粒子」領域の科学的な見方や考え方の育成」(②で授業研究)	小・中
16	学校力向上対策	8/4	今日的な教育課題の解決を図る学校力向上対策 「確かな学力の育成を目指すアクションプラン」	
17	生徒指導	8/5 ① 9/9 ②	児童生徒の自己指導能力の育成を目指す生徒指導 「日々の教育活動における生徒指導の機能を生かした指導の在り方」(②で授業研究)	小・中
18	生活科・総合的な学習の時間	8/5 ①	体験と表現が運動する生活科・協同して探究する総合的な学習の時間 「『生活科』及び『総合的な学習の時間』の充実を求めて~地域と関わる単元」(②で授業研究)	小・中
19	社会科指導	8/6 ①	社会的な見方や考え方を養う社会科指導	小・中
	幼小連携教育	10/9 ② 8/6	「社会的事象に関する基礎的・基本的な内容を身に付けさせる指導の工夫」(②で授業研究) 小学校への滑らかな接続を目指す幼小連携教育	71. 1
20			「今日的な課題への対応(小1プロブレム・特別支援教育)」 授業改善に生かすICT活用	,
21	ICT活用	8 /26	1 CTを効果的に活用した学習指導の在り方~各種機器の基礎的な活用方法」(授業研究あり) 生活をよりよく工夫しようとする実践的な態度を育てる技術・家庭科実技	小
22	技術・家庭科実技	8 /26	「食生活と自立(中学校 技術・家庭科)」 (授業研究あり)	中
23	学級活動	8 /28	望ましい人間関係とよりよい生活を築く学級活動 「『学級や学校の生活づくり』の指導の充実」 (授業研究あり)	小
24	図工・美術科実技	8 /28	感性を働かせながら、豊かな情操を養う図工・美術科実技 「[共通事項]を意識した授業づくり」 (授業研究あり)	中
25	教育講演会	8 /31	講師 栗原 慎二氏(広島大学大学院) テーマ 「誰もが行きたくなる学校を創る」(仮題)	
26	校内研修	9/9	年度の重点目標の具現化を目指す校内研修 「『確かな学力』を育む研修活動の充実」 (授業研究あり)	小
27	体育科実技	9 /30	運動に親しむ基礎を培い、体力の向上を図る体育科実技 「体つくり運動、器械・器具を使った運動遊び、器械運動」(授業研究あり)	小
28	学校・家庭・地域の連携	10/8	子どもたちの生きる力を育む学校・家庭・地域の連携(社会教育)	
29	(社会教育) 国際理解教育	10/13	「地域全体で子どもたちを育てる実践~学力・体力向上」 国際社会で主体的に生きていくための資質や能力を育てる国際理解教育	小
			「国際理解教育の実践の工夫~総合的な学習の時間における指導」(授業研究あり) 感性を豊かに働かせて表現する音楽科実技	-
30	音楽科実技	10/14	「歌唱の表現の工夫及び指導方法の工夫」 (授業研究あり) 生命尊重と、豊かな心を育む保健安全指導	小
31	保健安全指導	10/15	「学校におけるアレルギーに関する指導の在り方」 (授業研究あり)	小
32	ミニ道研A	10/29	北海道立教育研究所によるコース別研修「ミドルリーダー養成」・「キャリア教育」	
33	ミニ道研B	10/30	北海道立教育研究所によるコース別研修 「学習評価を踏まえた授業改善」・「生徒指導,教育相談A」	
34	書に親しもう	1/6	自分なりの表現で書に親しむ文化講座 「心に残る言葉を題材にした小作品づくり」(午前 半日日程)	
35	絵に親しもう	1/6	自分なりの表現で絵に親しむ文化講座 「切り絵で心を伝える作品制作」(午後 半日日程)	
36	センター研究発表会	2/4	「学び合いで確かな学力を育てる学習指導の在り方」に関する第16次3か年計画の2年次の研究を発表~センター研究員の実践、研究協力校の実践~	
Α	1 校務のための表計算入門		成績や会計をはじめ、さまざまな校務に応じた表計算ソフトの基本的な操作について(初心者向け)	
パロ	2 校務のための表計算入門(個別) 1 校務のための表計算活用	8/3 8/7 11/9	日常で使用しているデータなどで困っていることを個別に解決する講座(初心者向け) 成績や会計をはじめさまざまな校務に応じた表計算ソフトの便利な活用について(中級者向け)	
ソコロ	2 校務のための表計算活用(個別) 1 学校ウェブサイト作成と画像処理(ビルダー)	1/13 6/29	日常で使用しているデータなどで困っていることを個別に解決する講座(中級者向け) ホームページビルダーを使用した学校ウェブ サイトの作成の仕方や画像処理について	
2 C	2 学校ウェブサイト作成と画像処理 (CMS)	6/30	CMSで作成した学校ウェブ、サイトの更新の仕方や画像処理について	
技匠		9/11 12/28	授業や各種発表会で効果的に活用するプレゼンテーションソフトの活用について 教材や各種通信,掲示物の作成に活用できる画像処理,Loilo Scope2による動画編集について	
	学校で役立つタブレットPC入門	7/30 1/8	タブレットPCの基本的な操作や、授業での活用方法・役立つアプリの紹介について	

▼成27年度の講座開設の工夫▼

- (1) 第15次推進計画の基本方針に添い、教職生活全般を通じた教職員等の資質能力の総合的な向上を目 指す講座運営をする。
- (2)教育経営研修では、教職生活の各段階で求められる専門性の基盤となる資質能力の充実を目指す講 座を開設する。
- (3) 教育指導研修のうち、これまで実施してきた「幼稚園教育」は、幼稚園と小学校との滑らかな接続 を図る観点から「幼小連携教育」講座とする。
- (4)教育課題研修では、多くの今日的教育課題に対応するため、年度ごとに課題を設定する「学校力向 上対策」講座を新設する。初年度は、「学力向上」をテーマとする。また、これまで開設してきた「社 会教育」講座を「学校・家庭・地域の連携」を重視する講座に改編する。「教育講演会」は、今日的 教育課題解決を目指したテーマ設定とする。
- (5) 教科等指導研修では、小中間の連携を図るため、各校種合同で理論研修を行うとともに小中それぞ れの授業研修を行う。
- (6)教科実技研修では, 研究授業を重視する。また, これまでの「指導技術基礎」講座を整理・改編し,「 I CT活用」に特化する講座とする。
- (7) パソコン実技では、普及著しい「タブレットPC講座」を入門と活用に分けて開設するとともに、 個別の課題解決など受講者のニーズに応えられる講座を開設し、複数講師による少人数指導で対応 する。
- (8) 北海道立教育研究所と連携し、「ミニ道研」を開催する。
- (9) 期限付教員の指導力向上のため、各講座への積極的参加を勧める。
- (10) 講座開設情報は、開催要項に加え、「センターだより」、WEBサイト、電子メールによる講座案内 等により広く提供していく。
- (11) 講座運営に関する各種資料,関係図書の利便性をはかれる資料室の充実に努める。

[新設・改編講座紹介]

A 1-12 below A 1-lim below A 2 &					
新講座名	開催日	講座内容			
学校力向上対策 ※ミドルリーダー 向けの新講座です!	8月4日 (火)	多くの今日的教育課題に対応するため、年度ごとに課題を設定し、講義・提言・研究協議を行う講座を新設します。H27は「学力向上」をテーマに取り上げ、研修を深めます。なお、H28は「小中連携」、H29は「キャリア教育」をテーマとします。			
幼小連携教育	8月6日 (木)	今までの「幼稚園教育」講座を改編し、幼小連携を強く意識した講座です。幼児教育と小学校教育を円滑に接続させる指導の在り方についての研修を一層深めます。H27は「小1プロブレム」等について取り上げます。			
ICT活用	8月26日 (水)	今までの「指導技術基礎」講座を整理・改編し、授業改善に生かす I C T 活用に特化した講座です。講義・実技の他に、研究授業公開も行 います。H27は機器を複数用いたメディアミックスを取り上げます。			
学校・家庭・地域 の 連 携 (社会教育)	10月8日 (木)	今までの「社会教育」講座を改編し、学校・家庭・地域の連携を強く 意識した講座です。大学・民間関係者や教育委員会社会教育主事等を 講師に、講義・提言・研究協議等を行います。H27は「学力・体力向 上」をテーマに取り上げます。			

※この用紙は再生紙 (古紙70%)を使用しています

発発 行 刷任 行首 所者 東矢電旭〒上平 信 話川〇川成 丁三ン月 目六ター 四丁

五.

 \bigcirc

1日

<平成26年度の展示>

「書に親しもう」・ 「絵に親しもう」講座 受講者作品展示 1月16日~3月初旬

See 18

士別市立多寄中学校 生徒作品展 11月10~28日





受けまる ャ ラ す。申 付 IJ 7 おしいこと 込べ ご闡 みし ま 活 用せ °セと こしてご活用 くん だ さを 61 室いにた

I

資料を ご活用ください

平成26年度は研修セン ター講座を35講座実施しま した。廊下には、講座の様 子を掲示しています。また, センター事務室・1 F第2 研修室には、書籍のほかに 講座で使用された講義・提 言資料に加え,学習指導案 も保管しています。どうぞ お気軽に足を運び、ご活用 ください。